

◎エネルギー及びこれに関連する分野における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の有効期間を延長する議定書

(略称)米国とのエネルギー等研究開発協力協定の有効期間延長議定書

平成十二年一月二十八日ワシントンで
平成十二年二月一日効力発生
平成十二年五月十一日告示

(外務省告示第二二二三号)

前文	次	ページ
第一条 延長期間		一一〇〇一一
第二条 効力発生		一一〇〇一二
末文		一一〇〇一三

エネルギー及び他の分野における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の有効期間を延長する議定書

PROTOCOL EXTENDING THE AGREEMENT BETWEEN
THE GOVERNMENT OF JAPAN
AND THE GOVERNMENT OF THE UNITED STATES OF AMERICA
ON COOPERATION IN RESEARCH AND DEVELOPMENT
IN ENERGY AND RELATED FIELDS

前文

日本国政府及びアメリカ合衆国政府は、

一九七九年五月一日にワシントン署名され、一九八九年四月二十八日及び一九八九年十月二十一日改訂され、並びに一九九五五年一月十二日に追加されたエネルギー及び他の分野における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定（以下「協定」といへ）の有効期間が一千年一月一日に終りやむことを認識し、

協定第十一条への規定に従つて行動し、

次のとおり協定した。

第一条

協定は、一千年一月一日より三箇月間延長される。

第二条

効力発生

この議定書は、一千年一月一日効力を生ずる。

末文

一千年一月二十八日エラハーナム、かくして出文である日本語及び英語による本書一通を作成した。

DONE at Washington, this twenty-eighth day of January, 2000, in duplicate, in the Japanese and English languages, each text being equally authentic.

日本国政府のたぬき

小林秀明

アメリカ合衆国政府のたぬき

アーネスト・J・モニズ

The Government of Japan and the Government of the United States of America;

Recognizing that the Agreement between the Government of Japan and the Government of the United States of America on Cooperation in Research and Development in Energy and Related Fields, signed at Washington on May 2, 1979, as extended on April 28, 1989 and October 31, 1989, amended on February 1, 1990, and extended on January 13, 1995, (hereinafter referred to as "the Agreement") will terminate on February 1, 2000;

Acting pursuant to paragraph 2 of Article XI of the Agreement;

Have agreed as follows:

Article I

The Agreement will be extended for three months, effective from February 1, 2000.

Article II

This Protocol will enter into force on February 1, 2000.

FOR THE GOVERNMENT
OF JAPAN:
FOR THE GOVERNMENT OF
THE UNITED STATES OF AMERICA:
(Signed) Hideaki Kobayashi (Signed) Ernest J. Moniz

(参考)

この議定書は、昭和五十四年五月一日に署名され、平成元年四月二十八日付け及び同年十月三十一日付けの交換公文により延長され、平成二年二月一日付けの交換公文により延長及び一部改正され、並びに平成七年一月十三日に署名された議定書により延長された米国とのエネルギー等研究開発協力協定（昭和五十四年二国間条約集及び条約集第二九八七号参照）の有効期間を平成十二年二月一日から三箇月間延長するものである。